

〈東口再開発について〉

1. 再開発は既にスタート(施行中)。事業が遅れることで、経費がかさみ事業収支を圧迫するとともに、権利者(店舗経営者)の事業再開が遅延。ひいては、街なかの空洞化が長期化。
2. 現状、東口エリアにおいては集客機能が弱く、商業を中心に民間企業の投資意欲が低い。日常的に人を呼び込むためには、集客力のある拠点が必要。
～市施設が、人を集め、賑わいを創出する起爆剤に
3. 市施設については、以下の2点を踏まえて検討。
 - ① 再開発事業の枠組みのなかで整備。
 - ② これまでに提示されているコンセプト「多様な交流・にぎわいを創出するふくしまコンベンション」の実現、さらなる展開。(参考資料1参照)

〈西口のまちづくりについて〉

4. イトーヨーカドー跡は、民間企業が所有する土地・建物であり、その利活用などについて意見・要望を取りまとめ。実現には関係者との連携・調整・合意が必要。

〈東西一体のまちづくりについて〉

5. 東西動線の強化は、現在の東西を移動する人の流れを踏まえつつ、新たな人の流れ(東西の集客や回遊性)がどうなるのか、どう生むのか、が重要。
6. 駅舎・駅ビルの改修や建替えについては、JRとの連携・調整・合意が必要。

〈東口再開発について〉

1-1. 再開発を、より特色あるもの、魅力あるものとするためにはどのような工夫をすべきか。

《第1回で出たキーワード》
「採算性」「民間でできること」「持続可能性」

1-2. 再開発で整備する市施設の集客・交流を拡大するために、どのような肉づけをすべきか。

《第1回で出たキーワード》
「小さくても個性的なもの」「若者が集まる」「まちに開かれている」「まちの連携性を高める」

〈西口のまちづくりについて〉

2-1. 様々な都市機能が多く集積する東口に対し、西口はどのような性格づけのエリアとしていくべきか。

2-2. イトーヨーカドー跡の活用は、公共施設、民間施設、複合施設など、どのような施設の立地がよいか。

《第1回で出たキーワード》
「文化施設」「高齢者・家族の買い物」

〈東西一体のまちづくりについて〉

3-1. より魅力的なエリアとするため、駅周辺へ至るまで、または、駅周辺エリア内における交通(マイカー、電車、バス、タクシー、自転車、徒歩、新モビリティなど)はどうあるべきか。

《第1回で出たキーワード》
「自転車アクセス」「駅まち空間」「歩いて楽しいまち」

3-2. 特に、駅東西をつなぐ動線について、どのような考え方で検討、調整していくべきか。

《第1回で出たキーワード》
「イベント空間の連携」「駅舎、駅ビルの更新」